



NEW DEPARTURE
輸送サービス労組 横浜統括センター分会

JTSU SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
JR東日本輸送サービス労働組合
環境責任者 森田 泰彦

2024年11月 2日 NO. 5

年末手当 これが私たちの求める根拠だ！

年末手当(ボーナス)の第一回交渉が1日に行われ、趣旨説明と現状認識を受け議論を行いました。2018年比96.5%まで回復しており、社員の努力であることは会社も認めていますが「先行き不透明」と繰り返しています。私たちは「社員の幸福を一番に考えても良いのではないか?」「世界情勢は落ち着きを見せており、先行き不透明ではない」「第二四半期は絶好調である」ことを主張してきました。社員がどんなに努力しても出し渋る今の会社の姿勢はいかなものなのでしょうか?

私たちが求める根拠

止まらぬ物価上昇に現場社員は圧迫されている。社員と家族を潤し、現場第一線の笑顔で会社の発展を目指すべきだ!

歯止めが効かない物価上昇に加え、秋には運賃の値上げを申請しようとしている。その理由の一つに人件費の上昇と謳っている。ここまで材料が揃っていても年末手当の満額支給はもはや当たり前のことだ。会社は我々の頑張りに応えよ!

兼務やジョブによる強制転勤など、社員の成長という言葉のみで社員の嫌がることばかりをやり、モチベーションや鉄道の安全性を明らかに低下させていることは事実だ。更に物価高により日々の生活は厳しいものだ。会社は社員のやる気や頑張りに応えるため、生活を守るために満額回答することを強く求める!

**第二回交渉 11月7日(木) 13:30から
満額勝ち取るために頑張ろう!!**

年末手当要求 基準内賃金の
3.5ヶ月+5万円

現場は我慢の限界だ!